

会場名	サブリーダー	
	役職	氏名
大阪国際会議場	ガバナーノミニー・デジグネート	吉川 秀隆
12 階 特別会議室	次年度地区代表幹事	高谷 晋介
<b>リーダー 役職・氏名</b>	次年度地区財務委員長	清水 高士
パストガバナー 高島 凱夫		
ガバナーエレクト 四宮 孝郎		
<b>議事録作成者</b>	副 SAA 松崎勝司 中塚 真由美 (大阪西南 RC)	

開会	(15 時 05 分)
発表者：高谷 晋介 2019-20 地区代表幹事	
<p>【記録内容】</p> <p>配布資料確認</p> <p>出席者紹介（リーダー、サブリーダー、パストガバナー、バズセッションコーディネーター・ガバナー補佐エレクト、ガバナー補佐ノミニー）</p>	
発表者：四宮 孝郎 ガバナーエレクト	(15 時 10 分)
<p>【記録内容】</p> <p>資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料 1 RID2660 地区恒久基金認証案</li> </ul> <p>恒久基金（Endowment Fund）についての増収を図りたい。現在、認証制度はベネファクター（恒久基金寄付の累積金額が 1000 ドルに達した者）のみだが、次年度はベネファクターに認証されて以降 1000 ドルごとに EF プラス 1 から 8（2000 ドルから 9000 ドルまで）についても地区独自の顕彰制度として地区認証状だけでなく襟ピンを授与できるよう検討中である。</p> <p>恒久基金はこれからの財団を支える、未来永劫に世界で良いことをしていくための基金であるため、各クラブに於いても恒久基金寄付増収についてご協力いただきたい旨お願い申し上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料 2 RID 地区補助金申請要件改定案</li> </ul> <p>ロータアクトクラブの事業には今まで地区補助金を使うことが出来なかったが、次年度以降はロータアクトクラブの奉仕事業にロータリークラブ（提唱ロータリークラブに限定されない）が申請し地区補助金を使えるようにしたい。当該申請に限り二つ目の申請として認められクラブの負担も地区補助金申請額の 10 パーセント以上と軽減されている。詳細は資料の通りである。現在、わが地区では財団の DDF は約 10 万ドルが毎年繰越されている。ロータリー財団では繰越金せずに、有効に使い切ることを推奨している。この新たな補助金制度を有効に活用いただき、ロータリーファミリーとして、ロータアクトクラブとロータリークラブの共同事業、共同活動をできるだけ実施していただけるようご理解とご協力をお願い申し上げます。</p>	
発表者：清水 高士 次年度地区財務委員長	(15 時 20 分)

【記録内容】

地区予算案説明

- ・ 予算策定の基本原則の確認
- ・ 2019-20 地区予算案について基本冊子 P31～35 に基づいて説明がなされた。

発表者：四宮 孝郎 ガバナーエレクト

(15 時 23 分)

【内容】

2019-20 地区予算承認決議

- ・ 質疑応答 質問無し。
- ・ 決議 2019-20 予算案は拍手により承認された。

発表者：高島 凱夫 パストガバナー

(15 時 25 分)

【内容】

クラブビジョン策定について

スライドにより下記項目について説明があった（スライド参照）。

1. 各クラブ及び地区の活性化の返還
2. ロータリーのビジョン声明
3. ビジョンを達成するため 4 つの優先事項
4. 地区ビジョン①
5. 地区ビジョン② 地区中期 5 ヶ年目標
6. 地区ビジョン③ 人道的奉仕の重点化と増加  
公共イメージと認知度の向上
7. クラブビジョン立案  
将来こうありたいというビジョンを描き、それに沿って目標と計画を立てるのが「ビジョン＝戦略計画」
8. クラブの現状評価を行う  
「強み」「弱み」「機会」「課題」
9. 変革管理
10. ビジョン立案の流れ  
現状分析、3～5 年後に向けた目標、実行と評価、そして最後に上手くいっているかの検証が大切。
11. 企業の組織運営 VS ロータリークラブの運営  
中長期の目標の立案・実践のためビジョン立案が必要。
12. ビジョン＝戦略計画があるクラブは、会員の満足度が高く、ロータリーに対する思い入れも強く、それがより高い会員維持率に繋がる。  
「会長の時間」で会員の気持ちを引く魅力的なスピーチするよう促す。
13. ロータリークラブは\*世界の流れに追いついていけるか？  
\*時代に適応していけるか？  
\*将来への蓄えが出来ているか？

を考慮すべきである。(2015 年 10 月の理事会決定事項)

14. クラブ戦略計画委員会の発足数
  15. クラブ戦略委員会の年間開催数
  16. クラブ戦略計画委員会の機能の認識について
  17. クラブ戦略委員会の活動による成果
  18. クラブビジョン目標の指針
  19. 各クラブが特長を生かしたクラブ運営をすることによって、入会候補者がクラブを選んで入会する時代が近々やってくる。
  20. ロータリー不変の「基本理念」
  21. 四つのテスト
  22. 中核的価値観
  23. 日本の会員増強目標  
2022 年 7 月 105,000 名の会員目標
  24. ラビンドラン元 RI 会長 (会員増強の談話)
  25. ポール・ハリス (ロータリー創始者の言葉)
  26. RIZ3 戦略計画推進セミナー 2014 年～
  27. RIZ3 戦略計画推進セミナーの案内
  28. ロータリーの魅力を生き生きと伝えるために行動しよう。
- 以上の説明がなされ、次年度会長就任への祝辞を述べられた。

発表者：高谷 晋介

(16 時 00 分)

**【内容】**

各クラブへの依頼事項 (基本冊子 P16-22)

「PETSでもご説明申し上げている依頼事項ですが、会長エレクトにおかれましては熟読して頂きたい」旨を述べたうえで下記事項についての説明があった。

P16. ガバナー公式訪問時は、例会開始 1 時間前に懇談会を開催すること。

また、会場都合により、プロジェクター・スクリーンの準備が難しい場合、紙面配付にて対応させていただきますので遠慮なくお申出下さい。

ガバナー補佐訪問日程調整の協力の依頼と、ガバナー補佐訪問時はクラブ協議会の開催をお願いしたい。

ガバナー公式訪問のための「クラブ現況報告書」は原則としてガバナー補佐訪問日の一週間前迄にガバナー補佐に提出すること。

P17～18. マイロータリー、クラブ・セントラルについて、会長・幹事のリーダーシップのもと事務局にをお願いしたい。

また、クラブの奉仕事業はガバナー月信、地区ウェブサイトへ積極的に投稿することもお願いいたします。

P18. 地区出向委員候補への推薦のお願い。

IM会長幹事会において、IMロータリーデー開催に関する主要事項について、合意の形成をしっかり行うこと。

P20-21. 本年度は I Mロータリーデーの後にフレッシュロータリアン親睦交流会を開催予定。原則として I Mロータリーデーのホストクラブがフレッシュロータリアン親睦交流会もホストします。

以上の説明がなされた。

発表者：IM 別バズセッション「クラブビジョン策定について」

(16 時 10 分)

**【内容】**

I M各組に分かれ、テーマ「クラブビジョン策定」についてガバナー補佐エレクトをファシリテーターとしてバゼッションが行われた。

閉会

(17 時 00 分)